

中小企業景況調査結果
(2026年1月～3月期)

市内の中小企業の景況並びに経済動向等に関する情報の収集及び分析を行い、経営に必要な情報を提供する
ことを目的として実施した。

【調査要領】

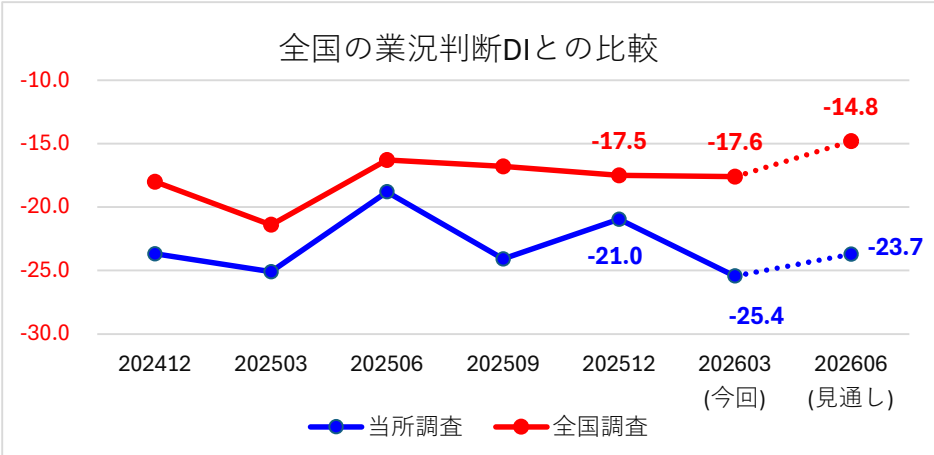
調査対象：静岡商工会議所の会員で静岡市内の500事業所
調査時期：2026年3月2日 ～ 2026年3月23日
調査方法：面談によるヒアリング／郵送またはwebによる調査
回答企業： 291 事業所 回答率 (58.2%)
分析方法：DIによる景況判断(小数点第二位を四捨五入)

【調査結果の概要】

全業種の業況DIは今回調査(2026年1月～3月期)で▲25.4と前期の▲21.0から4.4ポイント「悪化」となった。
全国で集計した業況判断DIと比較した場合、当所調査が「悪化」の回答割合が高く、7.8ポイント差となった。
先行きは全国調査は「好転」、当所調査は「横ばい」という結果だった。

	202603 (今回)	202606 (見通し)
当所調査	↓	→
全国調査	→	↑

↓: -2.1以下 →: ±2 ↑: +2.1以上



全国調査＝中小企業基盤整備機構 発 第183回 中小企業景況調査の数値

業種別では建設業、小売業、「横ばい」、製造業、卸売業、サービス業が「悪化」となった。
先行きについては製造業、卸売業、小売業が「好転」、建設業が「横ばい」、サービス業が「悪化」の見通しとなった。

	202603 (今回)	202606 (見通し)
製造	↓	↑
建設	→	→
卸売	↓	↑
小売	→	↑
サービス	↓	↓

↓: -2.1以下 →: ±2 ↑: +2.1以上

